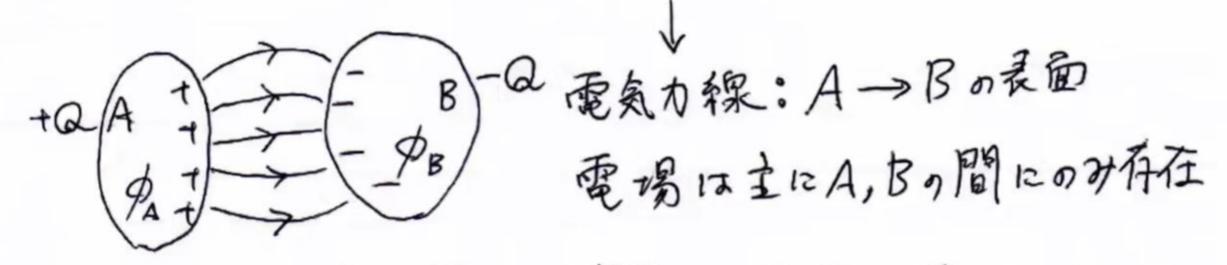
6. 誘電体 (絕緣体)

6.1コンデンサーと電気容量(キャハッシター)

の孤立した2つの専体AとBにナロと一の可で行を行かあうえる。



- ・このおうに、常に等量の逆符号の配荷を蓄える
 红粗もコレランケー(キャハウンター)という。
- ・尊体間の電位差:中4一中B=ア→電圧でいう。

単位はボルト(T)

6+

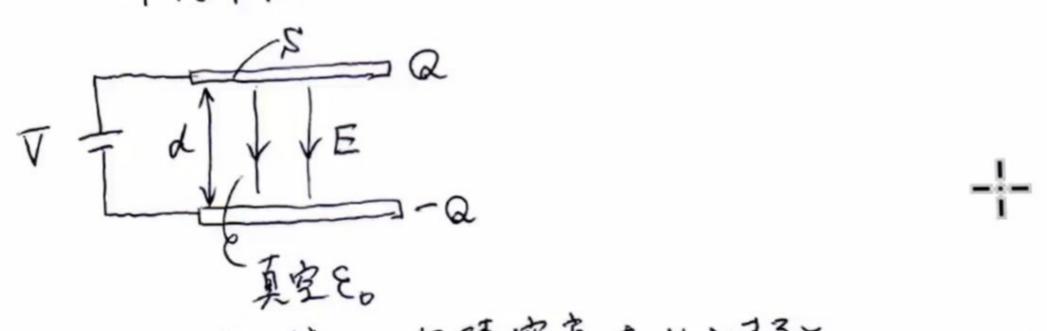
配荷QzVは代例:Q=CV 電気容量(キャルシタレス) 単位はファラド(F) の尊体に電荷Qを与えるとエネルギーが増大。 静電环川一丁= 」「pan pan)drage 体積 に対し、専体ではカェー定まり、 1 = \(\psi \phi \) \\ \rho \(\phi \) \d \(\phi \) = \(\frac{1}{2} \phi \) \(\phi \) コンデンサー:2つの尊体AとBにtQを一Q

$$\begin{aligned}
& \Pi = \frac{1}{2} (Q \phi_A - Q \phi_B) \\
&= \frac{1}{2} Q (\phi_A - \phi_B) \\
&= \frac{1}{2} Q V / Q \\
& Q = c V * y , \\
& \Pi = \frac{1}{2} c V^2 / (3 \times 7) - n$$

$$& \Pi = \frac{1}{2} \int P(Ir) \phi(Ir) dV_A \\
& \underline{e}_B \Rightarrow \underline{e}_B \text{ が ひき}_3 \\
& \underline{e}_B & \underline{e}_B \text{ か ひき}_3 \\
& \underline{e}_B & \underline{e}$$

平行平板コンデンサー:

平行平板コンプンサー:



エネルガーの体積密度をルとすると、

電位差(電圧):
$$\nabla = Ed = \frac{\nabla}{\varepsilon_0}d \left(= \frac{d}{\varepsilon_0 S}Q \right)$$

$$E = \frac{\nabla}{d}$$
(3)

電気容量:Q=2T おり、

$$2 = \frac{Q}{T} = \frac{\sigma S}{\frac{\sigma}{g} d} = \frac{\varepsilon_0 \frac{S}{d}}{\frac{\sigma}{g} d}$$

らに比倒し、人に反比的り

└> Sを変化させてさを変化:

可変容量コンテンサー

静電エネルギー: ル=」との日2

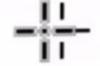
$$U = \frac{1}{2} \xi_0 E^2$$

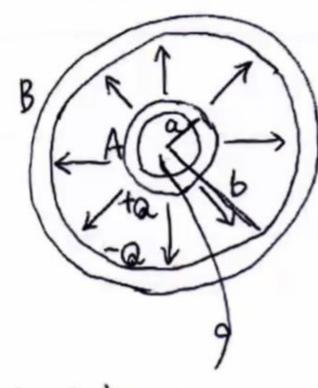
$$U = uV_{44} = \frac{1}{2} \xi_0 \left(\frac{\sigma}{\xi_0}\right)^2 \cdot Sd = \frac{Sd\sigma^2}{2\xi_0}$$

$$(5)$$

2) 同心球被コンテンサー (p.17、例2)

半径のとり(Qとb)の同心球殻収での専体から作られるコンデンサーの電気容量を求めよ。





尊体球でも状況は同じ。

・電位差:
$$V = \phi_A - \phi_B$$

$$= -\int_b^a E dr$$

$$= -\frac{a}{4\pi \ell_o} \int_b^a \frac{1}{r^2} dr$$

尊体球でも状況は同じ。

・電位差:
$$V = \phi_A - \phi_B$$

$$= -\int_b^a E dr$$

$$= -\frac{a}{4\pi \ell_0} \int_b^a \frac{1}{r^2} dr$$

$$= -\frac{a}{4\pi \ell_0} \left[-r^{-1}\right]_b^a$$

・電気容量:
$$C = \frac{Q}{V}$$

$$= 4\pi \xi_o \left(\frac{1}{a} - \frac{1}{b}\right)^{-1}$$

$$= 4\pi \xi_o \frac{ab}{b-a}$$

必幾何学的な大ささで 決まる。

(2003 海到下17)

$$=\frac{Q}{4\pi\xi_0}\left(\frac{1}{a}-\frac{1}{b}\right)$$

· 戰察皇:
$$C = \frac{Q}{V}$$

$$= 4\pi\epsilon_o \left(\frac{d}{a} - \frac{d}{b}\right)^{-1}$$

$$= 4\pi\epsilon_o \frac{ab}{b-a}$$

必幾何学的な大ささで、決まる。

(p.83、演習[1])